

作品分析を通して
 学びの視野を
 広げたい

Faculty of Literature and Human Sciences

文学部



<https://www.lit.osaka-cu.ac.jp/>
 06-6605-2353

文学部

探求心と知的好奇心を持って 人と人の作りあげてきた文化を知る。

学びの特長

4学科14コースの多彩な学び

哲学や史学を学ぶ哲学歴史学科、社会や地域、心、そして教育について学ぶ人間行動学科、文学や言語、文化を学ぶ言語文化学科、文化創造を社会的実践に結びつけて学ぶ文化構想学科と、多彩な「知」につながる豊かな学びがあります。興味関心に合わせて専門を深めることが可能です。

- 哲学歴史学科
- 人間行動学科
- 言語文化学科
- 文化構想学科

一人ひとりの探究心を満たす 少人数編成

各コース1学年数名から十数名という徹底した少人数編成で、それぞれの探究心を満たす充実したカリキュラムを組み立てることが可能です。コース選択が2年次からのため、関心のある専門分野をじっくりと見極めることができます。

社会に通用する人間学の 知識と実践力を伸ばす

多彩な領域に目を向け、文化や社会を知り思考することで人間の本質に迫ります。これからの国際社会で求められる人間学の知識とコミュニケーション能力などの実践的な力を体得することができます。

Student Voice 在学生の声

文化や作品を新たな視点で見つめ、その可能性に挑む。

興味のある映画について、その技法やスタイルを学びながら制作者の意図を発見する授業に力を入れています。専門的な分析スキルだけでなく、現代文化にまつわる歴史や理論についても幅広く学んだことで、多様な思考力が身に付きました。今後はミュージカル映画を題材に学びを深めていきたいです。



言語文化学科
 表現文化コース 4年生 西原 華
 大阪教育大学附属高等学校
 天王寺校舎卒業

Challenge of OCU 大阪市大の挑戦

平安時代の漢詩文と和歌

言語文化学科 山本 真由子先生

平安時代の文学作品、主に漢詩文と和歌を研究しています。平安時代の人々は、その作品をどのように理解し鑑賞していたのか。当時の理解に近づくことを目指して、作品に用いられた言葉の意味や、表現の成り立ちなどから考察しています。平安時代には、漢文学と和歌や物語などの和文学とが密接に関わっていました。『百人一首』の和歌や『源氏物語』なども、漢文学の影響を考えるとより理解が深められると思います。

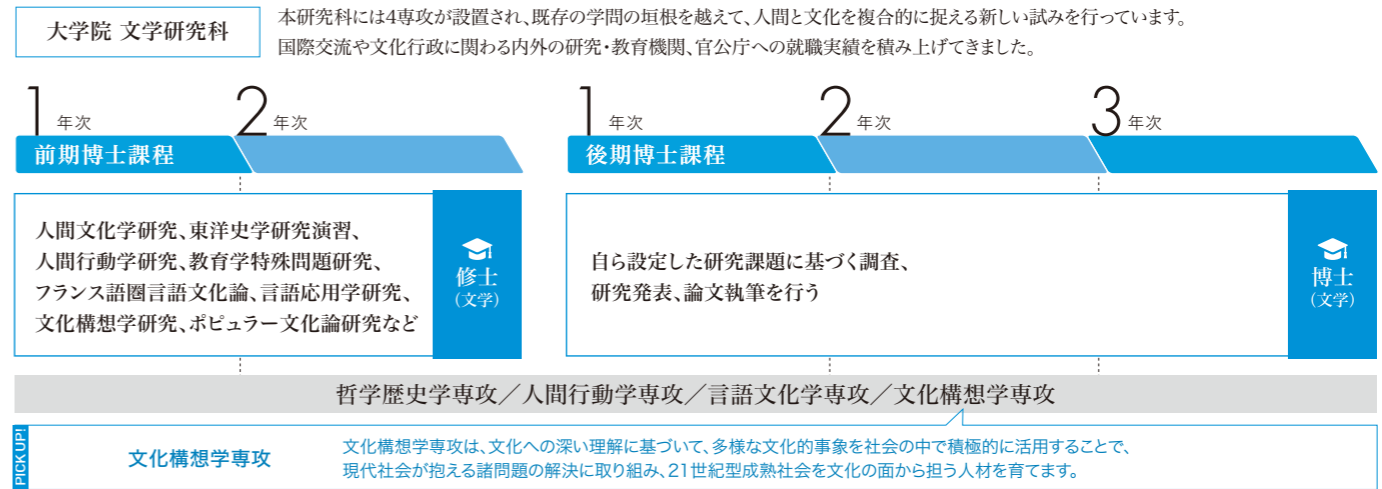
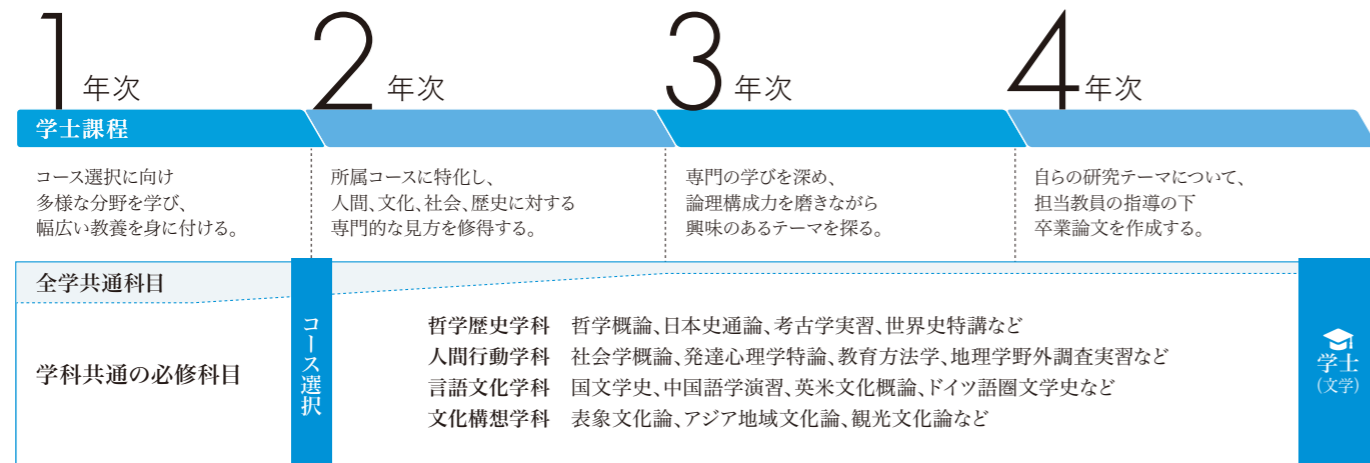


Professor's MESSAGE

言葉の奥行きに目を向けると、文学作品の面白さを再発見できます。

Q&A 文学部の特色とは？

文学部を「小さな総合大学」だと思ってください。学問の幅、間口の広さが最大の特色です。伝統ある「哲学コース」から、思想・文学・演劇・音楽・美術・映画・モード・サブカルチャーなどを現代的な視点から研究する「表現文化コース」まで、多彩な「知」へとつながる扉が用意されています。学生は多様な選択肢から勉強したい領域を選ぶことができます。しかも、しっかりと専門的に学ぶことができます。



I Study Program I

哲学歴史学科

▶ 哲学コース

世界の存在と人間がそこに占める位置、知識の成り立ちと根拠といった哲学の古典的テーマ、また私たちの生き方に関わる倫理的および宗教的・哲学的問題、さらには現代に固有の哲学的諸問題について、古代ギリシアから現代に至る西洋哲学の伝統を踏まえて考えます。

▶ 日本史コース

遺跡・遺物、記録や日記、古文書などの史料をもとに、社会史、都市史、文化史など多様な視点から、古代から現代に至る日本の歴史を学びます。博物館などの文化行政や教育の現場で活躍する人材を養成します。

▶ 世界史コース

全世界を対象に、古代から現代までの歴史を探究します。古今東西の史料を読み解き、各地域の特質や、各社会の政治的、文化的背景を明らかにし、広い視野を持つ国際的な教養人を育成します。

人間行動学科

▶ 社会学コース

人間がつくりだした社会に焦点を当て、そこにたち現れる現象を科学的に分析します。諸制度、都市、家族、産業と労働、文化と情報、メディアなど、生活の諸相を多角的に学びます。

▶ 心理学コース

心のはたらきという目に見えない現象を、行動という客観的な指標を通して明らかにします。さらに生理、感覚・知覚、認知、学習、発達、社会、性格といった、心のはたらきのさまざまな側面について、深く学びます。

▶ 教育学コース

教育は、個人の自己形成に与える影響をもたらすものであると同時に、社会的な価値・規範の伝達に資するものです。本コースでは、人間と社会について深く理解するために、教育の思想、制度、方法等について学びます。

▶ 地理学コース

地理学はさまざまな地域・場所の成り立ちと現状を解き明かし、将来像を描き出す実践的な学問です。旺盛なフィールドワークを通じて、地域の現実やメカニズムを把握し、その成果を社会にフィードバックする能力を養います。

言語文化学科

▶ 国語国文学コース

日本語を体系的・歴史的に学び、また、日本の文学を散文・韻文・芸能といった分野からバランスよく学びます。古典作品の緻密な読解と着実な論証を重視し、日本文化の究明を目指します。

▶ 中国語中国文学コース

文学・語学・文化の3分野からなりまします。中国語の歴史やしぐみに関する深い知識を得るとともに、古典文学や演劇、映画などを幅広く学びます。

▶ 英米言語文化コース

世界の共通言語と化しつつある英語の運用能力を培い、英米文学・英語学・英米文化の3分野について、広い視野と深い洞察力をもって学びます。

▶ ドイツ語フランス語圏言語文化コース

EUの中心をなす独仏の専門家を擁し、広く独仏語圏(欧州やほかの大陸)に関わる事柄(多文化社会、多言語社会、汎欧州文化など)のほか、独語圏、仏語圏の個別分野について学ぶことができます。

文化構想学科

▶ 表現文化コース

現代的な視点から、思想・文学・演劇・音楽・美術・映画・モード・サブカルチャーなどを対象とした比較研究を展開します。柔軟で斬新な研究が可能です。

▶ アジア文化コース

アジア地域の諸文化について学問的知見を深め、文化を比較の視点から考察する方法を学び、多文化の共生と創造的な相互交流に寄与する人材を育成します。

▶ 文化資源コース

文化創出のプロセスについての深い理解に基づいて、文化資源を活用するための理論や実践(アーツマネジメント、観光学)を学びます。文化を通して社会や地域に貢献できる人材を育成します。



Q&A コースはどのように選べばよいのでしょうか?

各コースに分かれるのは2年次からです。入学後の1年間は、学科・コースを決めないうまく講義を受けることになります。その間に自分を見つめ直し、最も関心のある専門分野は何かを見極めて、進路を選択してください。1年次の担任教員のアドバイスや教員によるガイダンス、教育促進支援機構主催の先輩学生による相談会などを参考にしてください。

I 講義紹介 I



教育学演習Ⅲ
島田 希先生

教育学コースの「教育学演習Ⅲ」では、特色ある教育実践に関する文献を読み解きながら、その意義や課題を分析していきます。各回の授業では、学生自身が文献を読み解き、その要点を発表し、全体で議論を行います。そうした活動を通じて、教育学のものの見方・考え方を身に付けることを目指します。



西洋史講読Ⅱ
北村 昌史先生

世界史コースでは多様な世界の歴史研究を進めるためにさまざまな言語で書かれた文献・史料を読み込む力が必要となります。この授業では、ドイツ語の研究文献を受講生と読み解いています。ドイツ語は大学で初めて学ぶ言語ですが、授業を通じて、ドイツ語を読んでいく基本的な力が次第に身に付いていきます。

文学部のココもCHECK!

公認心理師

<https://www.lit.osaka-cu.ac.jp/psy/>

公認心理師は、さまざまな職場において、心の健康の問題を扱う心理職従事者のための国家資格です。文学部の心理学コースでは、公認心理師資格取得希望者を対象に、資格取得のためのプログラムを用意しています。資格取得には要件があります。詳しくは本学Webサイトをご確認ください。

教育促進支援機構

<https://www.lit.osaka-cu.ac.jp/education>

教育促進支援機構では、学生の「学び」を支援する多彩な事業を、学生自らが企画・立案し、教員と協働して実施・運営しています。その内容は、新入生歓迎キャンプ、1・2年生のための就活ガイダンス、自主ゼミ支援事業、進路セミナー、文学部案内の編集・出版など、多岐にわたります。学生主体の創発的な学びの場が提供されています。

Q&A 卒業後はどのような進路がありますか?

文学部では、社会・地理歴史・公民・国語・外国語(英中独仏)の教員免許状のほか、博物館学芸員の資格を取得することができます。卒業後の進路は、流通業・情報関連産業・教員・学芸員・官公庁・マスコミ・出版等多岐にわたっており、各界の第一線で活躍する専門職業人を輩出しています。文学部で培い、身に付けた「人間学」の知識とコミュニケーション能力などの実践的な力は、社会において十分に有効性を発揮します。

I 卒業生紹介 I

大学でさまざまな人々と関わった経験が、将来を決めるための重要な要素となりました。

もともと幅広い分野に興味があり2年次から専攻を選択できる市大を志望。その中でも、将来海外と関わる仕事をしたいと思い、英米言語文化コースを選択しました。また部活動などを通して社会(学校、世代、国籍を超えた多様な立場の人)と関わるのができた経験は、その後の将来選択の原体験になっています。現在、私は化学メーカーで働いていますが、海外企業との付き合いや折衝の中で、大学で学んだことや議論した経験が生きていると感じます。市大はあらゆる機会を与えてくれますので、ぜひ好奇心に任せて幅広く挑戦してみてくださいね。



文学部 言語文化学科
英米言語文化コース
2012年3月卒業
高田 さくら 東洋紡株式会社